

国土交通省大臣認定:PS060FL-0264(床) PS060FL-0357(床) PS060WL-0308(壁) PS060WL-0320(中空壁) PS060WL-1115(片壁)
(一財)日本消防設備安全センター評定:KK19-039号(床) (共住区画)KK19-141号(床) (共住区画)KK19-040号(壁) (共住区画)KK19-041号(中空壁) (共住区画)

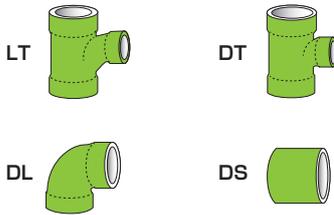
1 施工前の準備

■ **直管** JIS K 6741 硬質塩化ビニル管(VU, VP)



■ **継手** JIS K 6739 排水用硬質塩化ビニル管継手(DV)

塩化ビニル管継手協会規格 AS-38 屋外排水設備用硬質塩化ビニル継手(VU)



■ **ジョイントテープ** (色: グレー) サイズ: 40×900mm



■ **貫通部処理テープ*** サイズ: 40×900mm 60×900mm 120×900mm 200×900mm



*国土交通大臣認定書及び(財)日本消防設備安全センター性能評定書では、耐火テープと表記しております。

区画貫通部分の直管と継手には下表を参考に貫通部処理テープを巻き付けてください。

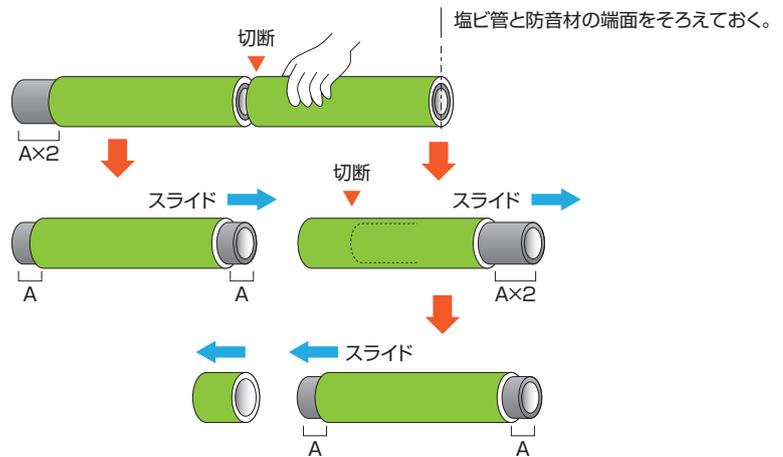
テープ幅	適合品種
200mm	直管 (床厚120mm以上)
120mm	直管 (床厚100mm以上)
60mm	継手 呼び径100の品種 (DTシリーズを除く)
40mm	継手 呼び径75の品種、DTシリーズ

2 直管の切断

⚠ 表面のフィルムは、はがさないで下さい。

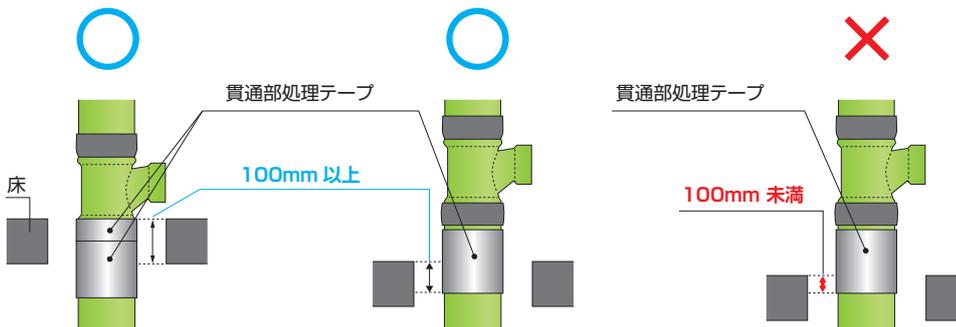
⚠ シャーバー等で切断するときは手でしっかり押さえ、中の塩ビ管が回転しないようにして下さい。

呼び径	Aの寸法
40	22mm
50	25mm
65	35mm
75	40mm
100	50mm
125	65mm



3 区画貫通部の施工 (床貫通の例)

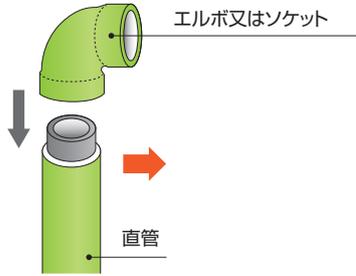
区画貫通部の施工には、必ず、貫通部処理テープが必要です。ジョイント部が、床の貫通部分に入る場合、ジョイントテープではなく、必ず貫通部処理テープを巻いてください。貫通部処理テープは貫通部に100mm以上埋設してください。



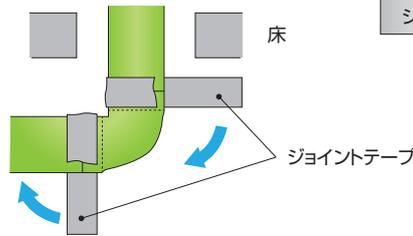
呼び径	Bの寸法
50	300mm
65	450mm
75	450mm
100	450mm
125	600mm

4 排水管の接続

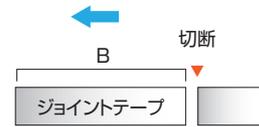
- ・ジョイントテープが、貫通部に入らないよう巻いてください。
- ・防音性能が低下しないよう、引っ張らずに巻いてください。



接着剤を塗り、直管と継手をつなぐ。その際、防音材の継ぎ目に隙間ができないように施工してください。



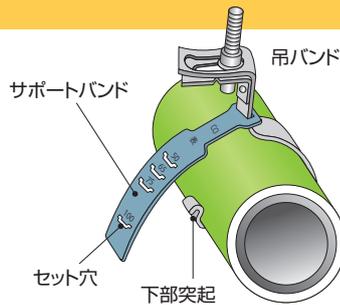
離型紙をはがし、継ぎ目に巻く。



呼び径	Bの寸法
40	300mm
50	300mm
65	450mm
75	450mm
100	450mm
125	600mm

5 支持金具の取り付け

- ・支持金具の締めすぎは防音性能の低下につながります。



共通支持金具の吊バンドを使用して、管をしっかりと固定する。その際、サポートバンドに管サイズが表記されているので、管サイズに合ったセット穴を下部突起にはめ込む。

6 伸縮継手と直管の接続

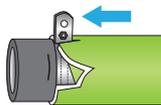


直管を必要な長さに切断し、伸縮継手の標準差込長さをケガキする。

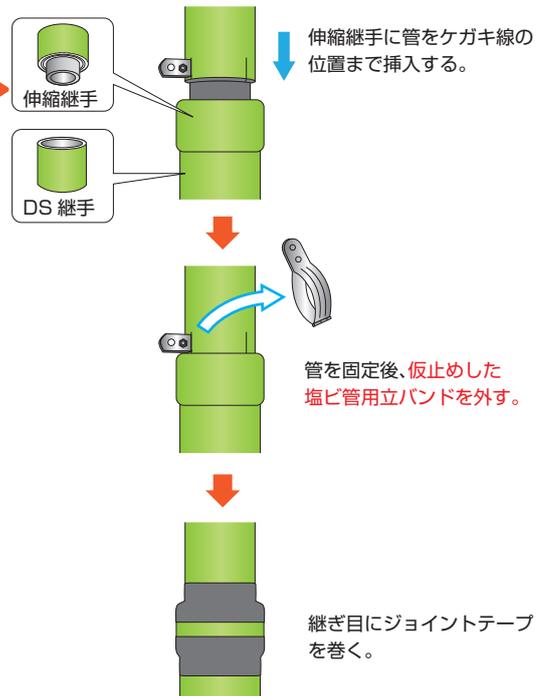
呼び径	標準差込長さ
50	40mm
75	55mm
100	65mm



防音材の周囲4ヶ所に3cmの切込みを入れる。



防音材が自重で下がらないよう塩ビ管用の立バンドを使って、ケガキ線のところで仮止める。防音材をケガキ線まで、スライドさせる。



伸縮継手に管をケガキ線の位置まで挿入する。

管を固定後、仮止めた塩ビ管用立バンドを外す。

継ぎ目にジョイントテープを巻く。